



第80回卒業式

春の穏やかな風を感じる3月1日（土）多くのご来賓ご臨席の下、本校体育館にて第80回卒業式が挙行されました。心より感謝申し上げます。今年卒業したのは309名で、笑顔、涙、緊張感それぞれの表情で卒業証書を受け取り、希望に満ちあふれこの名護高校を巣立っていきました。今年の3年生は一言でいうと「よく頑張った！」素朴な言葉ではありますが、3年生となって学校を引っ張っていきこうという意識が強くなり、学校行事においては圧巻ともいえる雰囲気を作り出し、学習面や進路面においてもコツコツと努力しその成果を上げました。そして、もう一つ感じたのは前に進んでいこうという気持ちと同時に、しっかり振り向けるべき人へ後輩を思い、後で支えようとする本来持っている優しさでした。宿題であった、18年間で回想し感謝の気持ちを伝えるべき人への思いは伝えてくれたことでしょう。「人は誰でも努力が必要、それでも無理だと思ったら素直に人を頼り、その分必ず誰かを支援してあげる」「人に迷惑をかけるな。ではなく、迷惑をかけてもあいつの事ならどうにかしてあげようと思われる人になる」そんな生き方で、自分らしく輝いて行くことを願っています。この3年間で「知性」「感性」「個性」という財産を手に入れたみなさんの未来は明るい。自信をもって前に進んでいってください。「がんばろう〜！」



サプライズ Live
Rude-αさん名護高へ歌のプレゼント



卒業式の前日2月28日に1、2年生も参加し、予定演習が行われましたが、その後、生徒には内緒にしていたサプライズゲストをお呼びしてのライブを行いました。MCとしてYouTuberの喜屋武さんが会場を盛り上げ、登場したのはrapperのルードアルファさんと、5曲を披露していただきました。最後に披露されたのは名護高校のために作ってくれた「For my friends」という曲で生徒たちの盛り上がりは最高潮で、高校生活の思い出の一つを綴ってくれました。この様子はテレビニュースにも取り上げられました。



卒業式終了後には、生徒会主催の第2部が行われました。後輩からのメッセージや昨年度までに離任された先生からのビデオメッセージがあり、卒業生は思いを巡らせ歓声に包まれ、涙する姿もありました。最後にはくす玉で祝福。厳肅で穏やか雰囲気にも包まれた式と華やかな2部の構成は本校らしさを表す素敵なものとなりました。

卒業式 2部



送
辞

（拔粹）
齋藤
華音

先輩方は、勉強もスポーツも、そして学校行事でもいつも一生懸命でキラキラ輝いていて私たちはいつもその背中を追ってききました。思い返せば私たちが入学しての初めての生徒会行事である新入生歓迎球技大会で、まだ名護風の雰囲気には打ち解けられておらず、何をしたいかわからない私たちに、兄弟学級の先輩たちが「一緒に応援しよう」と声をかけてくださり、一気に緊張が解けてその後も一緒に写真を撮ってくれたり私たちの試合の応援も全力で応援してくれたりしたのを覚えています。その後も廊下ですれ違ったりに合図をしてくれ、すぐに学校生活に慣れることができました。先輩方が築いてくださった伝統を大切に受け継ぎ、さらに発展させ、より素晴らしいものにしていきたいと思います。先輩方の新たな旅立ちが希望に満ちた素晴らしいものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

答
辞

（抜粋）

今思い起こしてみると、名護高校で過ごした3年間はあつたという間でした。朝、登校してクラスに入る。「おはよう」と挨拶を交わし、帰るときには「また明日ね」と声をかけあつたこと。何気ないごく普通の日常だけれど、本当は特別なことでかけがえのないことだと気づきました。在校生のみなさん。私たちの引く張る名護高校はどうでしたか。活発で仲が良く、個性豊かな皆さんなら私たちのような一生忘れない高校生活を送っていかれると思います。卒業した後に後悔しないためにも今しかできないことに果敢に挑戦していただく。将来の自分のために勉強に一生懸命励んでください。仲間と共に切磋琢磨しながら部活動に情熱を注ぎ、全力で取り組んでください。どんなに大変でも、辛くても、それが自分にとっての財産となり、武器となるでしょう。

80期生のみなさん、失敗を経験と捉え、困難を挑戦と捉え、できないことを成功の予兆と捉える。挑戦し続けることが幸せにつながるとこの3年間で感じました。これから感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきます。名護高校の更なる発展と在校生の活躍を心から祈念します。